

令和元年度第4回東広島市入札監視委員会会議概要

1 会議名

令和元年度第4回入札監視委員会

2 開催日時・場所

令和2年2月13日（木） 10:00～11:40

東広島市役所本館4階 入札室

3 出席委員

横山委員、岩元委員、石垣委員、中本委員、佐野委員

4 出席職員

総務部長、総務部技術調整監、建設部次長兼維持課長、都市部次長兼営繕課長、
下水道部下水道建設課長、生涯学習部次長兼スポーツ振興課長、事務局員

5 会議の概要

(1) 入札及び契約手続に係る運用状況の報告について

次の事項について、事務局から説明を行った。

ア 入札方式別発注工事の状況

イ 指名除外措置の運用状況

(2) 検証対象工事の検証について

次の検証対象工事について、入札参加資格要件、工事概要等を事務局及び施工担当課から説明を行った。

ア 小学校増改築事業 福富中・（仮称）福富小学校校舎増築及び改修工事（建築）

イ 令和元年度 東広島市下水道事業 白市地区污水管渠建設工事（白01-1）

ウ 令和元年度 東広島市下水道事業 乃美尾地区圧送管渠建設工事（黒01-1）

エ 令和元年度 体育施設災害復旧事業 志和市民グラウンド土砂撤去工事

オ 平成30年度 土木施設災害復旧事業・農業用施設災害復旧事業

八本松地区災害復旧工事（1-2）その2

(3) その他

ア 災害の対応状況について

平成30年7月豪雨に係る災害復旧工事の対応状況について、事務局から説明を行った。

イ 次回の検証工事抽出委員について

抽出委員は配布した名簿の順とし、次回の抽出は佐野委員が行うことで決定した。

6 発言の内容

(1) 入札及び契約手続に係る運用状況の報告について

発言者	内容
委員	指名除外措置で、工事関係事故の指名除外期間が1か月の案件と、2週間の案件がありますが、この指名除外期間の差について理由を教えてください。
事務局	指名除外期間の違いにつきましては、けが・事故の程度や、事故の対象が誰・何であったのか、それらの状況の違いにより期間を定めるように運用を行っています。
委員	入札契約の状況では、「落札率100パーセント」が従来と比べて多いように思われましたが、災害関係の工事が多いことの影響でしょうか。
事務局	土木一式工事が特に不調で、災害復旧工事の不調率が高い値で推移している状況があります。 一般の工事の案件も含めて、最近の開札の状況を見ますと応札者が少なくなっていることから、落札率が高めの結果になっていると推定されます。

(2) 検証対象工事の検証について

ア 小学校増改築事業 福富中・（仮称）福富小学校校舎増築及び改修工事（建築）

発言者	内容
委員	工事内容としては、児童数の減少により、小学校と中学校を一体化しようということでしょうか。
事務局	福富地域の久芳小学校と竹仁小学校の児童数が、減少傾向にあります。 これを、小中一貫教育を導入するという目的を持ちまして、2つの小学校を統合し、福富中学校の敷地の中に設置するものです。 それに伴い、既存校舎を活用しながら、不足する教室につきましては増築・改修を行うものです。

イ 令和元年度 東広島市下水道事業 白市地区污水管渠建設工事（白01-1）

発言者	内容
委員	この工事の入札参加資格について「下請負契約金額が4,000万円以上となることが予想されるため、監理技術者の配置が必要」と設定していますが、先ほどの検証対象工事では「下請負契約金額が6,000万円以上」の設定でした。 その設定の違いについて教えてください。
事務局	監理技術者の資格を持つ者の配置が必要となるのは、土木一式工事の場合は下請負契約金額が4,000万円以上、建築一式工事の場合は6,000万円以上となります。 工事種別の違いにより、入札参加資格の設定が異なります。
委員	下請業者には、誰が入ることができるのでしょうか。

事務局	まず、下請負業者に建設業の許可が必要となるのは 500 万円以上の工事となります。 次に、工事を行う際には、建設工事業の許可を持っている者であれば、資格のある技術者を配置しなければならないことになっております。 よって、建設業法の許可を持っているか、金額によってどのような技術者を配置しなければならないのか、といった条件を満たす者が、下請負業者として工事を請け負うことができるということになります。 なお、元請負人は、施工体制台帳を作成し、その工事に関連する技術者の適正配置などについて、把握して管理する義務があります。
委員	施工体制台帳のチェックは、元請負人が行うのでしょうか。
事務局	はい。施工体制台帳は、現場に備えつけとなっています。 発注者から提示の要求があれば、すぐに提示できるような状態にしておかなければならないことになっています。
委員	この工事と、先ほどの検証対象工事は、「総合評価落札方式」で入札が行われていますが、入札参加者が少なく、実質は、競争でその評価を比べるようになっていないように思われます。 災害復旧工事があり平常時と異なるかもしれませんが、発注の時期を年度初めにするなど、総合評価落札方式をより活かせるような方法は無いのでしょうか。
事務局	総合評価落札方式に限らず、普通の価格競争においても入札参加者が多いほうが、競争性が働きます。 発注時期を早めて、なるべく年度初めに発注したほうが、業者が参加しやすい状況があります。また、発注件数をできるだけ年間を通じて平準化して、一定の時期だけに集中しないようにもしていますが、案件それぞれの事情により、この時期になることもあります。

ウ 令和元年度 東広島市下水道事業 乃美尾地区圧送管渠建設工事（黒01-1）

発言者	内容
委員	この工事は「工事成績条件付一般競争入札」を適用していますが、工事成績評定点に係る入札参加の条件として、①平成 28 年度から 30 年度に竣工した土木一式工事の平均工事成績評定点が 65 点以上の者、②平成 28 年度から 30 年度までの 3 か年に土木一式工事において一度も工事成績評定を受けていない者、のいずれかを満たす者とありますが、そのように設定した理由について教えてください。
事務局	工事成績評定点とは、工事が完成したときにあわせて評価する点数でありまして、標準的な点数が65点になります。 「工事成績条件付」ということで、65点以上の方に基本的に応札していただきたいという考え方で、まずは設定しています。 また、工事成績評定は、一定額以上の工事であれば対象にはなりませんが、施工状況が良く、技術力もあり、さらに応札意欲のある業者に対しては、工事を受注し、実績を積んでいただきたいという意向もありますので、それら2つの条件を設定しています。

委員	この工事は「工事成績条件付」で、先ほどの検証対象工事は「総合評価落札方式」で入札が行われています。 どちらも下水道事業ですが、その設定の違いについて教えてください。
事務局	1億円以上の工事は、平成31年4月から、基本的に総合評価落札方式の対象工事として発注するように運用を決めております。 1億円未満の工事につきましては、通常の発注とするか「工事成績条件付」の発注とするか、という違いになりますが、その中で、施工が一般的な工事である今回の工事を「工事成績条件付」として設定しました。

エ 令和元年度 体育施設災害復旧事業 志和市民グラウンド土砂撤去工事

発言者	内容
委員	早期復旧を図る必要から指名競争入札になったということですが、災害発生が平成30年7月であるので、工事の発注が遅れていることの説明をお願いします。
事務局	災害により流入した土砂は、グラウンドの外野の部分であったことから施設利用を中断するには至りませんでした。これを放置しますと、水路にたまった土が下に流れて悪影響を及ぼすことから、市民の利用には影響がないということとのタイミングを見ながら、工事を発注したものです。

オ 平成30年度 土木施設災害復旧事業・農業用施設災害復旧事業

八本松地区災害復旧工事（1-2）その2

発言者	内容
委員	当初、指名競争入札にて指名した業者のうち、応札したのは1者のみであったことから入札が不調となり、その応札した1者と随意契約をしたということですが、そのような運用になっているのでしょうか。
事務局	指名競争入札は、特定の業者を指名してその中で競争していただくことになりますが、競争性が働いているかという観点から、1者のみの応札であった場合には、有効とせずに不調となります。 この工事は、被災箇所の河川護岸が崩壊していることから緊急性を考慮して、随意契約に移行し見積書を提出いただきました。
委員	随意契約に移行した場合、指名競争入札の時とは予定価格が変わるのでしょうか。
事務局	単価の改定がありますので単価の見直しを行います。施工条件は変えません。
委員	指名競争入札のときは、どの業者が指名を受けているかということは、お互いにわかるのでしょうか。
事務局	指名の業者は、誰が入札に呼ばれているかということは、わかりません。

(3) その他

ア 災害の対応状況について

発言者	内容
委員	残りの災害復旧工事の予算は、どれほどの見込みになるのでしょうか。
事務局	令和２年度の災害復旧関係予算は、115億円です。